

広報 おおくら 2

おかえり、なりわい灯す きよらなる里

令和4年
No.750

特集

酒造りの伝統を 後世へと繋ぐ小屋酒造

● COVER かいいれ 仕込蔵での櫓入風景

3つの日本酒をご紹介 お酒は20歳になってから。



最上川
特別本醸造 とろり

原料米：はえぬき
精米歩合：60%
アルコール度数：19度

日本酒本来の力強さがある日本酒。トロリとしたあま味と濃醇でコクのあ
る艶やかな味わい。



花羽陽
純米吟醸 つや姫

原料米：つや姫
精米歩合：55%
アルコール度数：15度

原料から作り手までオー
ル山形の日本酒。程よい
酸味が爽やかで、キレの
良いお酒。



花羽陽
大吟醸 絹

原料米：山田錦
精米歩合：35%
アルコール度数：17度

特別に醸造した日本酒の
芸術品。果実のような芳
香と絹のように柔らかい
味わい。

この地の歩みとともに430年 酒造りの伝統を 後世へと繋ぐ 小屋酒造

つららが屋根の軒にぶら下がる季節。酒蔵からは白い湯気が立ち昇ります。この湯気は酒造りが始まった合図でもあります。米から作られる日本酒は日本が世界に誇る醸造酒です。全国各地で日本酒は造られています。最上地域の酒蔵は大蔵村の「小屋酒造」ただ一つとなりました。この冬も小屋酒造では酒造りが行われています。

今回の特集は、時代の変化とともに変わる酒造り、26代にわたり受け継がれてきた伝統の技、そして、次世代へと地酒をつなぐ役割を担う人々の想いにふれます。



小屋酒造 代表取締役社長
26代目 小屋 和也さん



1_蒸米では湯気が立ち込める 2_昭和63年の酒造りの様子。昔も今も変わらない酒造りが行われている 3_蒸し上がりを確認する様子(写真提供：小屋酒造)

伝統の技と新しい試みで 愛され続ける地酒を――



1

県内屈指の歴史ある酒蔵 「小屋酒造」

山形県には51の酒蔵があります。その中でも長い歴史をもつ酒蔵が、大蔵村清水の「小屋酒造」です。創業は430年ほど前の1593(文禄2)年。小屋酒造では、これまで26代にわたり、酒造りが代々受け継がれてきました。代表銘柄は羽陽の地に咲く花という意味で名付けられた「花羽陽」、最上川酒造から受け継いだ「最上川」、本格焼酎の「きらら」です。

厳しい冬が良いお酒を生む

小屋酒造での酒造りは11月中旬から4月中旬まで。冬の気温や澄んだ空気は日本酒の醸造に適しています。大雪は清らかな水となり、その厳しさによって、良いお酒を造ることができます。

伝統の酒造りを守るために 「吟醸酒」への挑戦

現在、小屋酒造の26代目を務めるのは、代表取締役の小屋和也さん(清水二)。小屋代表は醸造学科のある東京農業大学を卒業後、3年間、栃木県の酒蔵で修行を積みました。そこで叩きこまれた言葉があります。「これからは吟醸酒だ。必ず吟醸酒の時代が来る」。

この言葉が26代目の酒造りに大き

な影響を与えました。当時の日本酒の主流は安価な二級酒(普通酒)であり、超特級酒に位置付けられる吟醸酒は一般的ではありませんでした。小屋代表は当時の醸造責任者とともに研究を重ね、吟醸酒の種類を増やしてきました。吟醸酒は普通酒に比べ、その値段は4倍ほど。「卸業者からも『なんでこんなに高いんだ』と値段に驚かれた」と言います。「米の芯まで削って造るんだ」と小屋代表は吟醸酒の魅力を説き続け、「吟醸酒ってうまいんだな」と知ってもらうことができたと言います。

食べておいしい米で おいしい吟醸酒をつくりたい

酒造の業界では「おいしい米でいい酒は造れない」という定説があるとあります。しかし、小屋代表は「食べておいしいお米でいい酒を造らなければ、本当の地酒ではないのではないかと考え、山形県内で栽培された「はなの舞」や「コシヒカリ」、「はえぬき」などでも吟醸酒を造るようになりました。食用としてもおいしいお米と伝統の技で造られた吟醸酒は、業界の定説を覆す良いお酒に仕上がりました。小屋酒造では、手造りという代々の歴史を守りながらも、新しい試みへの挑戦を続けています。



肘折温泉郷の旅館でも人気！

◀地酒利酒セット

小屋酒造の「絹」、「いで湯の里」、「原酒とろり」の3種類の日本酒を一度に味わえるとお客さんにも人気のセット。

お酒はどんな料理にも合い、お客様からも好評です

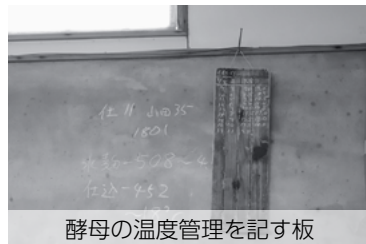


大友屋旅館
大友久士さん(肘折)

小屋酒造は最上郡では唯一の酒蔵で、とても歴史があります。地元のお酒を楽しんでもらいたいと考え、平成23年の食事処のリニューアルを機に、「地酒利酒セット」の提供を始めました。このセットは当初からとても人気です。小屋酒造のお酒はどんな料理にも合いますし、春の山菜料理にも、秋の料理にもピッタリです。お客様からは「おいしい！」と好評で、商店でお土産として購入している方も多いです。



タンクがずらりと並ぶ仕込蔵



酵母の温度管理を記す板



ビン詰め前の洗浄作業



酒造りに従事している5人



酒蔵から立ち昇る湯気



蒸し上がった米に麹菌を混ぜる



麹は温度をみながら慎重に

地元の人々の手で造られる伝統の味

酒造りは5人で

酒造りをする人を「蔵人」といいます。小屋酒造では醸造責任者一人と蔵人の四人で酒造りを行っています。蔵人のほとんどが地元農家であり、春から秋はそれぞれが米や野菜などを栽培しています。

酒造りの材料と工程

日本酒の材料は、米と麹菌、酵母、水の4つです。まず、精米された米を洗い、蒸すことから酒造りが始まります。次に、蒸した米に麹菌の胞子を撒き、繁殖させる麹造りです。この麹造りは味に大きな影響を与えるため、温度管理など細心の注意を払って行われます。同時に、別室では糖からアルコールを作り出す役割を持つ酵母の培養(酒母造り)も行われます。造られた麹と酒母、蒸した米、そして水をタンクに入れ、25日から1か月醗酵させ、酒となります。

酒造りは人育てに似ている

仕込みを担当するのは製造部の松田佳祐さん(新庄市)。松田さんは「人を育てている気持ちで、酒を造っています。赤ちゃんの状態から大人になるまでを促す。会話をしながら育てています」と話します。毎日、すべてのタンクを開け、「調子悪いところないかな」

最上地域で唯一の酒蔵 ここを守る使命がある

小屋代表の長男、小屋圭一郎さん(清水二)。現在は小屋酒造で常務取締役を務めています。小屋常務は父親と同じ、東京農業大学醸造学科への進路を決めた時に、酒蔵を継ぐことを心に決めました。大学卒業後、島根県で3年間の修行をした後、Uターンし、小屋酒造で酒造りに従事しています。

「最上地域の酒蔵は一社しかありません。うちがなくなると、この地域に酒蔵はなくなる。そうなればとても悲しいことですし、酒蔵がなくなることはしたくない。やはり使命感が大きいです」と酒蔵を継ぐ意思を口にします。

完成して飲んだ時の感動を お客様にも――

「お酒が完成して、飲んだときの感動。そのために私は酒づくりをしています」と小屋常務は話します。そして、「うちらしいお酒になったときは、いいお酒だなと思います。うちらしいお酒を言葉にすると、きれいで、フレッシュで、淡麗なお酒。それが小屋酒造のお酒ですね。そして、お客様がうちのお酒を飲んで、同じ感想をもってくれたら、うれしい」と話します。

子どもを育てるように酒を育てるおもしろさ

と様子をみています。「酒造りは厳しいことが多く、好きじゃないとできない」と松田さん。しかし、「子どもと同じで、手間だとは思いません。めんごいし、大切だから。酒造りは悩むと同時にもしろさがあります。良くないと思っていたものが半年後にはすごく良いお酒になっていたり、荒れていた子どもが立派な大人になるのと同じですね」と酒造りのおもしろさや魅力を語ります。

農家だからこそ気づけること

農家でもある松田さんは「米作りの延長上に酒造りがある」と言います。稲の成長過程での日照不足などが、酒の質に影響する部分は、農家として栽培管理をしているからこそ気づける変化です。松田さんは「米作りをしていて、酒造りにも従事できることがうれしい」と話します。農家ならではの着眼点を持ち、繊細な酒造りを続けています。



製造部
松田佳祐さん(新庄市)

注ぎつ注がれつ 日本酒の文化を伝えたい

日本には性別や年齢、上下関係を越えて、お酒を注ぎ合うという特有の文化があります。相手を思いやりながら、みんなでお酒を楽しむ文化です。飲酒だけが目的ではなく、ともに飲み交わし、親交を深めることを大切にしています。「今の若い人たちに『注ぎつ注がれつ』の文化を伝えていく役割がある」と小屋常務は話します。宴会などではグラスでお酒が出されることも増え、さらに新型コロナウイルスの影響もあり、日本の酒文化である「注ぎつ注がれつ」の文化が薄れつつあります。小屋常務は27代目として酒蔵を継ぐ強い気持ちとともに、「日本酒の文化を伝えていきたい」と話します。

430年の歴史ある酒蔵は、その味わいを守りつつ、新たな試みで、これからも歴史を繋いでいきます。



小屋酒造 常務取締役
小屋圭一郎さん(清水二)

第72回大蔵村

式典の進行やあいさつなど、式の運営は成人者により行われました。式中では、加藤村長の式辞を受け、新成人代表の野崎杏菜さん（大坪）が「コロナ禍という大変な状況にもかかわらず、成人式を開催していただき、私たちが生まれ育った大蔵村に、今日またこうして集うことができたこと、大変うれしく思います。私たちが成人に達することができたのは、多くの方々のおかげです。今までのご縁や人との繋がりが、これからの新しい出会いを大切に、努力を重ねていきます」と誓いの言葉を述べました。

式典には大蔵中学校時代の恩

式典終了後 大蔵小学校の卒業時に思い出の品を取めたタイムカプセルが開封されました。タイムカプセルには、二十歳の自分に向けた手紙や小学生のときに使っていたゲーム機や卓球

出の品が入っていました。

ます。



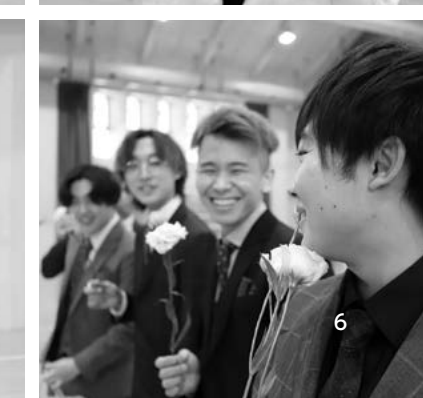
受付では高校生ボランティアサークル「ぎやらくと」がサポートしてくれました

Message



大蔵中学校3年時
学年主任 小田利昭 先生

久しぶりにみなさんに会って、随分と凛々しく、^{たくま}逞しく、頼もしくなったなとうれしく思います。家族や同僚、友人など周りの人を大切にし、誠実に接してください。ふるさとが良いものです。どこに住んでいても、このふるさと大蔵村を大切に想ってほしい。そして、1日1日を大切に生きて行ってほしいと思います。成人おめでとう！



新庄警察署と防災行政無線等による広報協力の協定書を調印



12月15日(水)、新庄警察署と大蔵村との「重要凶悪事件等発生時における防災行政無線等の情報発信システムを活用した防犯情報等の広報に関する協定書」の調印式が行われました。この協定は、連続発生のおそれのある重要凶悪事件などが発生した場合、防災行政無線などで速やかに知らせることで、村民の被害を防止し、地域の安全や安心を確保することを目的としています。最上8市町村がそれぞれ、新庄警察署との協定を結びました。

住宅火災の初期消火に協力
5名に感謝状が贈られる

12月23日(木)、最上広域消防本部で初期消火協力の感謝状の贈呈式が行われ、大蔵食堂(代表 齊藤勝太郎さん・清水一)、佐藤照美さん(清水一)、柴田トメ子さん(清水一)、半田庄一郎さん(清水一)、矢作美紀さん(清水二)の5名に感謝状が贈られました。11月に発生した住宅火災に気づいた近所の5名が通報や初期消火活動を連携して行ったことが称えられたものです。

押切由美さん(合海)が
新庄税務署長納税表彰を受賞

11月15日(月)、新庄税務署で表彰式が行われ、押切由美さん(合海)が新庄税務署長納税表彰を受賞しました。この表彰は多年にわたり、納税意識の高揚と正しい税知識の普及などに貢献した方々が表彰を受けています。押切さんは公益社団法人新庄法人会女性部会の部会長として申告納税制度の普及啓発などに尽力しています。誠におめでとうございます。

国勢調査2020の人口等基本集計結果が公表。大蔵村の人口は3028人に

国勢調査 2020

令和2年10月1日基準日で実施された国勢調査の人口等基本集計結果が11月30日に総務省から公表されました。国勢調査はすべての人と世帯を対象に5年ごとに実施されており、大蔵村の人口は3028人(前回調査比▲384)、世帯数は945世帯(前回調査比▲71)となりました。国勢調査にご協力をいただきありがとうございました。



▲ 高齢者役と介助者役となり、階段の上り下りを体験しました

相手の気持ちを理解し気づかう大切さを学ぶ
大蔵小6年生が高齢者の疑似体験

12/16(木)、大蔵小学校で高齢者等疑似体験が山形県社会福祉協議会の協力で行われました。6年生34名が肘や腰に動かしづらくなるサポーターをつけ、高齢者役と介助者役となり、階段の上り下りなどの体験を行いました。國分紗羽さん(通り)は「色々体験して、毎日の生活がとても大変だということに気づきました」と話してくれました。体験を通し、相手の気持ちを理解し気づかう大切さを学びました。



▲ ほら貝の音を響かせながら、肘折温泉街を練り歩きました

新型コロナの収束や無病息災を祈って
肘折温泉でさんげさんげ

1/7(金)、肘折温泉で出羽三山の年越し行事である肘折さんげさんげが開催されました。時折強い雪が吹きつける中、白装束に身を包んだ住民たちが「さんげさんげ、六根罪障～」と唱え、無病息災や商売繁盛を祈りながら温泉街を練り歩きました。その後、湯坐神社前では威勢のよい掛け声とともに力強い餅つきが行われました。ついた餅は持ち帰り用のパックに詰め、観光客や住民に振る舞われました。



▲ 「トマトの炊き込みご飯」と「トマトと豚肉のキムチ炒め」が献立に登場

美しい村プロジェクトで中学生がメニューを考案
大蔵小学校と中学校でトマト給食

1/12(水)、大蔵小学校と中学校で中学生が考案したトマトの献立が給食に登場しました。大蔵中学校では総合的な学習の時間に美しい村プロジェクトを実施しており、トマト給食チームが考えた2品がメニューになりました。チームの班長を務めた荒木萌瑛さん(熊高)は「大蔵村に生まれたからこそ、トマトの魅力をみんなに伝えたかったので、考えたメニューを献立で実現できてうれしかった」と話してくれました。



▲ 「何を作ろうかな?」贈られた木のおもちゃで遊ぶ子どもたち

わぁ!木のいいにおい!
村内2つの保育所に木製おもちゃが贈られる

1/21(金)、みどり豊かな森林環境づくり推進事業を活用した村の木育推進事業で制作された木製キッチンのおもちゃが村内2つの保育所に贈られました。木製のキッチンやまな板などのおもちゃに「わぁ～!いいにおい!」と子どもたち。齊藤逸輝くん(肘折)は「木のおもちゃはつるつるすべすべで気持ちいい!」と話してくれました。子どもたちはさっそく、贈られた木製のおもちゃでおままごとを楽しんでいました。

>>>>> 給与のあらまし <<<<<

■人件費の状況 (普通会計決算 令和2年度)

住民基本台帳人口 (令和3年3月31日)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	(参考) 令和元年度の人件費率
3,084人	4,546,003千円	66,795千円	854,234千円	18.8%	17.6%

■職員給与費の状況 (普通会計決算 令和2年度)

職員数	給与費				職員1人当たりの 給与額
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
82人	304,500千円	61,547千円	119,972千円	486,019千円	5,927千円

■職員の平均給料・平均給与月額及び平均年齢 (令和3年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
大蔵村	304,600円	381,190円	39.3歳	280,300円	302,645円	42.6歳
山形県	335,300円	418,364円	43.8歳	335,600円	373,692円	52.3歳

■職員の初任給 (令和3年4月1日現在)

区分	一般行政職	
	大卒	高卒
大蔵村	174,300円	152,300円
山形県	185,100円	152,300円
国	182,200円	150,600円

■職員の経験年数別・学歴別平均給料月額 (令和3年4月1日現在)

区分	一般行政職		技能労務職
	大卒	高卒	高卒
10年以上15年未満	269,300円	237,300円	—
15年以上20年未満	324,500円	299,700円	229,300円
20年以上25年未満	364,400円	357,000円	300,600円

■特別職の報酬等 (令和3年4月1日現在)

区分		月額
給料	村 長	820,000円
	副村長	620,000円
	教育長	575,000円
報酬	議 長	310,000円
	副議長	250,000円
	議 員	230,000円
期末手当	村 長	・6月期 月額×1.4×1.65月分 ・12月期 月額×1.4×1.65月分 ・計 月額×1.4×3.3月分
	副村長	
	教育長	
	議 長	
	副議長	
	議 員	

■職員の期末・勤勉手当 (令和3年4月1日現在)

区分	期末手当	勤勉手当
6月期	1.275月分	0.95月分
12月期	1.275月分	0.95月分
計	2.55月分	1.9月分
その他	職制上の段階、職務の級等による加算措置有り	

(注) 国の職員と同じ支給率

>>>>> 職員数の状況 <<<<<

■職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日現在)

区分	令和3年度	令和2年度	増減	主な増減理由
村 長 部 局	77人	75人	2	
一般会計	58人	56人	2	新型コロナ対応のため +1 教育委員会より異動 +1
特別会計	12人	12人	0	
公企等特別会計	7人	7人	0	
議会事務局	1人	1人	0	
教育委員会	12人	13人	▲1	村長部局へ異動 ▲1
計	90人	89人	1	

■一般行政職の級別職員数 (令和3年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	12人	24.0%
2級	主任	7人	14.0%
3級	係長	7人	14.0%
4級	主査	12人	24.0%
5級	課長補佐	3人	6.0%
6級	課長	9人	18.0%
計		50人	100.0%

(注1) 級区分は、大蔵村給与条例によるもの

(注2) 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務

>>>>> 人事行政の運営等の状況(令和2年度) <<<<<

■勤務時間の状況

勤務を要する日	毎週月曜日から金曜日までの5日間(国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く)
勤務時間	8:30～17:15(休憩時間12:00～13:00)

■休暇取得状況

年次有給休暇	20日の年次有給休暇を付与(令和2年実績：平均取得日数10.7日)
--------	-----------------------------------

■職員研修の状況

山形県市町村職員研修所(係長級職員研修、税務担当職員研修等)	19名受講
新庄最上職員合同研修(法制執務)	4名受講

■職員の分限及び懲戒処分の状況

分限処分	職員の勤務実績が良くない場合や心身の故障の場合などの処分	免職	休職	降任	降給
		0人	0人	0人	0人
懲戒処分	法令違反や全体の奉仕者としてふさわしくない非行があった職員の処分	免職	停職	減給	戒告
		0人	0人	0人	0人

村職員の
給与などを
お知らせ

<<<<<

大蔵村職員の給与と人事行政の運営等の状況についてお知らせいたします。

職員の給与は、国家公務員の人事院勧告や山形県人事委員会勧告、また他の自治体との均衡を考慮し、村議会の審議を経て村条例で定められています。

>>>>>



募金へのご協力 ありがとうございました



▶赤い羽根共同募金 寄付合計584,259円

赤い羽根共同募金は地域の福祉活動や自分のまちを良くする仕組みとして活用されています。災害の際には地域を越えて被災者を支え合う仕組みとしても役立っています。

▶歳末たすけあい募金 寄付合計403,500円

新たな年を迎える時期にすべての人々が明るい暮らしができるように実施しています。村社会福祉協議会では配分委員会を実施し、村内の要介護・支援高齢者、障がいのある方、翠明荘などの最上管内の施設に配分しています。

●村社会福祉協議会 ☎75-2104 (内線273)

地域応援商品券の 使用期限は3月20日です！

新型コロナウイルスにより影響を受けた地域経済の活性化と生活支援のため、10月に全世帯に配布した「地域応援商品券」の使用期限が迫っています。期限までに使用するようにしてください。

▶使用期限 3月20日(日)

●総務課 政策推進係 ☎75-2111 (内線214)

新型コロナワクチン 3回目接種のお知らせ

大蔵村では新型コロナワクチンの3回目の接種を1月下旬から開始しています。次の日程で集団接種を行います。3回目の接種は接種日に18歳以上になっている方が対象です。

▶70歳未満の集団接種の日程

- ・2/20(日) 65歳以上70歳未満の高齢者
- ・3/6(日) 7月中に2回目接種を終えた方
- ・3/13(日) 8月から9月上旬に2回目接種を終えた方

▶場所 大蔵村中央公民館

▶お願いしたいこと

- ・予診票の記入と当日の検温にご協力ください。
- ・肩付近に注射しますので、肩を出しやすい服装でお越しください。
- ・3月の集団接種では、会場に入る前の待機スペースがありませんので、必ず集合時間にお越しください。

▶次の方は必ずご連絡ください

- ・3回目接種を希望しない方
- ・職場等で接種することが決まっている方
- ・接種日の都合が悪い方
- ・1回目・2回目の接種を受けていない方で、接種を希望する方

●新型コロナワクチン接種対策班 ☎75-2324



ふるさと納税で全国から応援いただいています！

▶ふるさと納税とは

ふるさと納税は生まれ故郷や応援したい都道府県や市区町村に寄付ができる制度です。大蔵村では「ふるさと応援寄付金」として全国から大蔵村を応援してくれる方を募っています。

▶令和2年度の寄付総額は97,987,100円

昨年度、大蔵村へ寄せられたふるさと納税寄付は4,316件、寄付総額97,987,100円となりました。温かい支援をいただいた方には、お礼品をお送りし、大蔵村の魅力をお届けしています。

▶令和2年度の使い道別の寄付件数と金額

使い道	件数	金額
村政一般への活用	1,462	39,188,500円
明日を担う子どもたちの教育への活用	1,109	30,822,100円
環境や景観の保全への活用	343	8,100,500円
安全安心な村づくりへの活用	143	3,213,000円
ふるさと産業の振興への活用	434	9,775,000円
その他	78	1,873,500円
令和2年7月豪雨	747	5,014,500円
計	4,316	97,987,100円

●総務課 政策推進係 ☎75-2111 (内線213)

▶令和2年度の活用事例を紹介します

ふるさと納税を活用し、実施した事業の一部を紹介します。



教育

新JIS規格の机を導入し、広々とした机で学習ができるようになりました。



除雪

日本一雪に強い村を目指し、村道を中心にきめこまやかな除雪や排雪に活用しました。



観光

地蔵倉などの観光施設への散策路の管理に活用しました。



農業

棚田の草刈を省力化するため、ラジコン草刈り機を導入しました。



村営バス

村営バスの運行を行い、通学・通勤の移動手段を確保しています。

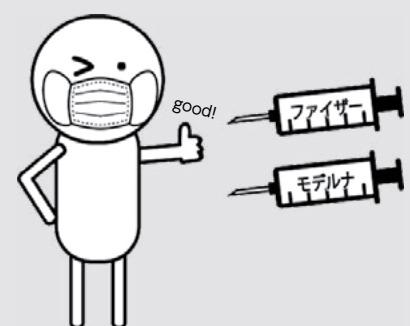


災害復旧

令和2年7月豪雨で被災した源泉公園の復旧などを行いました。

診療所 深瀬龍先生の 新型コロナこらむ

どちらでも十分予防効果あり！



3回目の接種にご協力ください！

第14回 どのワクチンも大丈夫

ファイザー社製もモデルナ社製もどちらのワクチンも感染や重症化を予防する効果があります



新型コロナワクチンの3回目の接種が1月末から始まりました。村民のみなさまにご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。3回目接種ではこれまでの接種で使用したファイザー社製のワクチンだけでなく、モデルナ社製のワクチンも使用することになりました。どちらの会社のワクチンが良いのか心配される声も聞えますが、ファイザー社製、モデルナ社製、どちらも問題なく、感染や重症化を予防する効果を得ることができます。20歳以下の方がモデルナ社製ワクチンを接種する場合には通常よりも注意する必要がありますが、それ以外の世代では副反応の程度に差はないとされています。大蔵村では製造元会社を選んで接種することはできませんが、安全かつ迅速にワクチン接種が完了できるようにしていきます。

シリーズ 最上南部3町村縄文文化発信推進会議

11 繫げよう 縄文の輪



鋭い刃の道具で動物を捕らえる縄文時代の狩猟

野生動物を捕獲し、食料とする縄文時代の狩猟では弓矢や石槍などの道具が使われていました。これらの道具には、鋭い刃を作り出すことができる頁岩や黒曜岩が用いられました。弓矢や落とし穴などで、シカやイノシシ、野ウサギなどの動物が捕まえられました。

写真提供：うきたむ風土記の丘考古資料館(高畠町)



▲狩猟の道具の石槍と石鏃



舟を使って行われた縄文時代の漁労

縄文時代の漁労では、海や川での貝の採取に加え、縄文人は丸木舟を巧みに操り、猟を行っていました。骨角器と呼ばれる動物の骨や角で作製された釣針や銚先の出土から、釣漁や刺突漁により、比較的大型の魚類が獲られていたと考えられています。海岸近くから海峡まで、縄文人は海についても熟知していたようです。



▲舟を漕ぐ道具(櫂残欠)

全国自治宝くじ販売中！
バレンタインジャンボ

バレンタインジャンボが2種類同時に3/4(金)まで販売しています。宝くじ売り場または宝くじ公式サイトでご購入ください。宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われています。

●県総務部財政課 ☎023-630-2044

男女共同参画事業
職場を活性化するダイバーシティ経営

企業におけるワーク・ライフ・バランスの取り組みを推進、後押しをするため、研修会を開催します。

▶とき 2/16(水)10:00～

▶場所 リモート開催(Zoom)

▶対象

最上管内企業の管理者、女性管理職、管内福祉施設等職員、行政機関担当者など

▶申込方法

右のQRコードで「やまがたe申請」からの申し込みまたはFAX(22-1311)で

▶申込締切 2/7(月)

●県最上総合支庁子ども家庭支援課 ☎29-1221

やまがた合同企業説明会
2023の参加者募集

▶とき

3/14(月)・15(火)
13:00～16:30

▶場所 山形ビックウイング

▶内容

県内企業による学生への業務内容の説明。最大100社を予定。

COVER

——表紙の写真——

12月から始まる酒造り。仕込蔵には大きなタンクがずらりと並び、すでに日本酒の香りがします。仕込蔵では、25日から1か月醗酵させ、日本酒ができあがります。
撮 影 日：1月17日
撮影場所：小屋酒造

▶対象

令和5年3月に大学院・大学・短大・高専・専門学校を卒業予定の学生およびその保護者

※事前の申し込みは不要

●ハローワーク新庄 ☎22-8609

婚姻届を提出されたご夫婦に
県産品をお贈りします

山形県内の市町村窓口婚姻届を提出されたご夫婦にお祝いのメッセージと県産品を贈呈する「やまがた結婚応援事業」を実施しています。

▶贈呈する県産品

県産米(つや姫・雪若丸・はえぬき)のキューブ米2セット、県産品ギフトカタログ

▶対象となる方

次の要件をいずれも満たす方
・R3.4.1～R4.3.25までに県内市町村窓口婚姻届を届出した夫婦
・夫婦またはどちらか一方が、婚姻時の住所が県内であること

▶申込締切

3/25(金) ※消印有効

※申込方法等について

は右のQRコードで
ご確認ください。

●県しあわせ子育て政策課

☎023-630-2668

愛玩鳥を飼育している場合は
報告が必要です

高病原性鳥インフルエンザが発生した場合、養鶏農家だけでなく愛玩鳥も家畜伝染病予防法に基づく防疫措置の対象となります。迅

速な初動防疫を行うためにも、1羽でも愛玩鳥を飼育されている方は定期報告をお願いします。

▶対象となる鳥の種類

鶏、アヒル、アイガモ、ウズラ、七面鳥、キジ、ダチョウ、ホロホロ鳥

▶報告内容

住所、氏名、電話番号、鳥の種類と羽数

●県最上総合支庁家畜保健衛生課 ☎29-1357

最上広域青少年指導センター
若者社会参加支援 巡回相談

コミュニケーションが苦手な社会参加に不安を持つ若者、ひきこもりや就労していない若者を対象に相談活動を行っています。何か悩みを抱えていたり、誰かに話を聞いてほしいと考えている方、お気軽にご相談ください。相談料は無料です。

▶とき 2/24(木)9:30～11:30

▶場所 大蔵村中央公民館

●最上広域青少年指導センター ☎22-2111(内線463)

新庄市夜間休日診療所の
ご案内

▶新庄市保健センター内に開設 ☎29-6300

▶診療科目 内科・小児科

▶夜間受付(月～土)
18:30～21:00

▶休日受付(日・祝日・12/31～1/3)
8:30～11:30/13:00～16:30

●新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

編 集
後 記

冬は新酒の時期。年の暮れに特集のテーマを決めました。今月の特集の取材では「小屋酒造」にお邪魔してきました。これまでですが、取材で今まで知らなかった事柄に触れることが多いです。今回も造り手の想いに触れ、その気持ちが詰まった言葉の数々に胸が高鳴りました。取材の醍醐味は、直

接見て、直接話を聴けることにあります。そのモノに触れることで、地域への愛着がより深まります。決まったページに収めなくてはならないため、割愛した部分もありますが、人の手で愛情を込めて、つくられたモノには魅力がたくさん詰まっています。この広報紙もおいしい仕上がりになっていることを願って、編集後記を締めくくります。

大蔵村環境衛生通信 vol.83

野良ネコのエサやりについて

▶野良ネコにはみだりにエサをあたえない

お腹を空かせた野良ネコがいたら、エサを与えたい気持ちはわかります。しかし、野良ネコに良かれとエサを与えてしまうことが、結果として不幸な野良ネコを増やしてしまうことにつながります。飼い主のないネコにエサやりをしている方にもネコの管理者としての責任があります。

▶野良ネコを飼うときのルール

1. 適切なエサやりを心がけましょう

近所の方々の理解を得たうえで、場所を決めてエサをやり、置きエサはしないようにしましょう。

2. 糞尿対策をする

最も多いトラブルの原因が糞尿の問題です。ネコがトイレしやすい場所をつくり、清掃も積極的に行いましょう。

3. 不妊去勢手術をする

飼い主のない不幸なネコをみだりに増やすことがないように、必ず不妊去勢手術をしましょう。

4. 野良ネコを飼いネコとして迎え入れることを検討する

屋外は交通事故や感染症のリスクがあり、良い環境とは言えません。責任と愛情を持って屋内で飼育することを検討してください。

●健康福祉課 健康衛生係 ☎75-2104(内線272)

読んであげたい今月の1冊に

絵本とお話の会 フレデリック

📖 今月の1冊 📖

「ごろごろごろん」
作・絵 とよたかずひこ



(鈴木出版)

しろくまの親子とあざらしの親子が一緒におでかけです。しろくまの親子とあざらし親子がごろごろごろんと転がり、雪だるまに大変身！雪だるまはしろくまとあざらしにそっくりです。しろくま親子がごろごろごろん！あざらし親子もごろごろごろん！次々に色々なものに変身します。

みなさんもごろごろごろんと転がって、変身してみてくださいね！

●中央公民館でかりることができます
●読み聞かせ時間 2分

戸籍の窓

12月16日～
1月15日届出分

お誕生おめでとう

地 区	お名前	保護者名
烏川	須藤 杏奈ちゃん	裕樹
合海	井上 愛絆ちゃん	勇樹
合海	井上 聖絆ちゃん	勇樹

お悔やみ申し上げます

地 区	お名前(年齢)	世帯主
赤松	八鍬 榮子(91)	博
清水二	海藤テル子(91)	利幸
烏川	須藤ケイ子(85)	裕樹
白須賀	國分満喜雄(75)	満喜雄
通り	國分 柳子(93)	孝一
通り	國分 百代(101)	ヒデ子

※届出の際に、掲載希望の確認を行います。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和3年12月末現在
()は昨年同期

世帯数	1,043戸	(1,048戸)
人 口	3,030人	(3,103人)
男	1,518人	(1,545人)
女	1,512人	(1,558人)
出 生	男 0人	女 3人 計 3人
死 亡	男 1人	女 4人 計 5人
転 入	男 3人	女 2人 計 5人
転 出	男 1人	女 4人 計 5人

2月の予定

5日(土)	肘折幻想雪回廊
6日(日)	新型コロナワクチン集団接種
7日(月)	大蔵小学校新入生一日体験入学
12日(土)	スポーツ選手のための栄養学講座
12日(土)	肘折幻想雪回廊
17日(木)	ヘルシーティース
19日(土)	肘折幻想雪回廊
20日(日)	新型コロナワクチン集団接種
20日(日)	あっとほーむインディアカ大会





ORAENOMENGO

今月のおおくらっ子

村内の子どもたちを紹介しています。親戚やお友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！



お名前 ^{みつ き} 加藤 充稀くん (聡)
地 区 赤松
好きなもの ねこ・エヴァンゲリオン



お名前 ^{み く} 伊藤 美来ちゃん (和幸)
地 区 合海
好きなもの トロピカル〜ジュ!プリキュア・チョコアイス



雪がたくさん降ったから
今日は雪かきをするよ！
手袋をして準備オッケー！

⑤③ 雪かきは安全に！

今月の「みつどご、
おもしえどご」

おおくらくんがみつけた
むらのみつどご
おもしえどご



屋根の雪下ろしをする時は
ヘルメットをかぶろう！
そして、命綱も忘れずに！！



雪はともだち♪
みんなも安全に雪かきを
すれば、こわくない♪



よいしょ、よいしょ、
頑張って雪を運ぶぞ〜！
これで運動不足も解消だっ！